

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	産業振興課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2. 「二宮ブランド」の開発と活性化				
分野別方針	(1) 農林業振興の推進		実施計画事業	農業振興事業 (No.50)				
予算等事業名	農業委員会運営経費							
目的	農用地の有効利用と中核農家の育成、各種生産団体及び協議会等の支援育成、又当町の農林産物を町民に周知し農林業の振興を図る。							
内容	農業に関する資料、情報の収集及び許可申請等の事務処理など農業委員会の運営にあたる							
根拠法令・条例等	農業委員会等に関する法律							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

## 総合評価

実績	毎月1回、合計12回開催し、農業に関する資料、情報の収集および許可申請等の事務処理を行った。						
中間評価との相違点	—						
事業指標(数値指標)	総会開催回数						
前期(27年度)目標値	12回			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	毎月定例開催のため			
	12回						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		3,293	3,251				
財源内訳	一般財源	2,745	3,164				
	国庫支出金						
	県支出金	476					
	その他	72	87				

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 法定事務のため	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 法定事務のため	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 目標値どおりの開催がなされ、許認可等の審議を行っている	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 他市町村に比べ委員報酬を低く設定する等、経費節減を図っている	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 目標値は達成されており、また効率性も適切であるため現状維持	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	農業者の減による委員定数の確保	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	農地の保全、適切な管理において、農業委員会の設置が必要である。		
今後の方向性	引き続き推進する。		